

労・建交労 かながわ

発行 建交労神奈川県本部機関紙部
〒 231-0025
横浜市中区松陰町2-7-17
リバーハイツ石川町304
☎ 045-662-2340
FAX 045-641-5453
Email ctg-kana@jasmine.ocn.ne.jp



主催者挨拶をおこなう
福田神奈川労連議長



元気よくメーデーに参加した事業団の皆さん

第89回メーデー開催

八時間働けばまともにも暮らせる社会を！

横浜市神奈川区の沢渡公園で開かれた横浜メーデーには1800人が参加しました。

福田裕行実行委員長(神奈川労連議長)は主催者挨拶で、8時間働けばまともにも暮らせる社会の実現こそが、世界の労働者共通の要求だ、と強調。最低賃金

1500円などの要求実現などを訴えました。

横浜メーデーに初めて参加した国会議員も

日本共産党の畑野君枝、立憲民主党の早稲田夕季の両衆院議員、自由党の鈴木毅県連代表代行が挨拶、共産党以外の国会議員が初めて横浜メーデーに参加しました。

日本共産党の畑野氏は9条改憲を許さず、憲法を働く現場でも日本の未来を構築する上でも生かす政治を作るために力を合わせて頑張りますと訴えました。

集会後デモ行進し、参加者は国会審議の前提を覆す改ざん、隠ぺい、ねつ造など国民主権と民主主義を踏みしめる安倍政権に怒りの声を上げ、9条改憲や、働き方改革法案を断念させ

平和を守れ！
憲法9条を守ろう！
労働法制改悪許すな！
大幅賃上げ

勝ち取ろう！

のコールが道行く人たちの注目を浴びていました。

2018春闘勝利 5・17統一行動

建交労神奈川県本部

神奈川県、横浜市、川崎市、
神奈川労働局に対し

第2次統一行動を終日展開



川崎庁舎前での早朝宣伝行動を終えて 次の行動へGO～



真剣に学童保育制度の充実を訴える

早朝7時30分の川崎庁舎前宣伝行動からスタートした統一行動は、続いてJAセレサみなみビル4Fの会議室に於いて川崎市に対する要請行動をおこないました。

学童保育支部は

「子ども・子育て支援法」の趣旨にのっとり、国の放課後児童クラブの補助金を自主運営の学童保育所におろすこと、そのために必要な要綱を作成することを川崎市側に強く迫りました。

市側はわくわくプラザ事業により、子供・子育て事業計画における量の見込みに対応できることを主張し、学童保育各所に対する補助金助成の要請については事実上拒否する態度に終始しました。

参加者からも 抗議の声

子供たちの健全な育成事業を継続させ、発展させてきた学童保育が、今後とも必要とする、環境と予算の充実が求められていると熱っぽく学童保育支部の仲間が語ります。

他市町が、子供・子育て支援の重要性をしっかりと認識したうえで、国に対して行っている補助金の要請を、なぜ川崎市は行なおうとしないのか、参加者からも疑問と不満と抗議の声が集中しました。

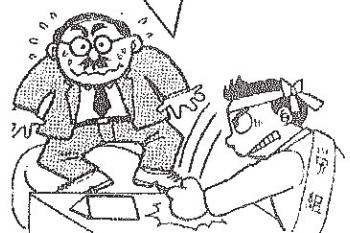
ダンブ支部は 交通災害防止を

ダンブ労働者の単価改善や、過積載による違法通行の防止、ダンブ規制法12条団体等の使用促進措置について、請負者に対する指導の徹底などを川崎市当局に対して迫りました。工事担当部局からは「今後引き続き、特別措置法の目的に照らし、受注者を指導していく」旨の回答がありました。引き続き改善に向けて市担当部署と

の継続的協議を進めていくことで確認をおこないました。

午後からは、横浜市と県に対して、高齢者就労対策の充実を求めて要請行動、統一行動最後の神奈川労働局に移動した参加者は、国民生活や経済活動に重要な役割を物流の現場で支えるトラック労働者の賃金・労働条件改善に向けた要請をおこない行動を終了しました。

6月6日17時
神奈川県労働委員会
(神奈川労働プラザ)
に集まろう!



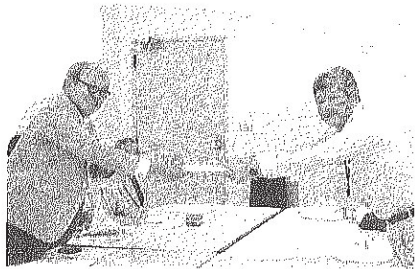
団交拒否は許さない!

悪質な労働組合対策をおこなう社会保険労務士事務所と顧問契約をおこなって4年、不誠実団交の常態化がやがて団体交渉の拒否にまでいたった会社は、「県労働委員会の幹旋案で和解することはできない」との強硬な態度をとり続けています。

三昭運輸分会はこれまで争議に発展しないよう団体交渉という労使のルールを遵守する立場で粘り強く交渉を重ねてきましたが、自ら泥沼の中へ足を踏み入れようとするかのような会社側の姿勢に対し、やむを得ず17年12月20日、神奈川県労働委員会に不当労働行為救済申し立てをおこないました。

悪質な社会保険労務士事務所の影響に隠れて社会的責任を果たさそうとしない三昭運輸を正常な労使交渉の席に着かせることが重要な課題となっています。

県本部に結集する多くの仲間を県労委に結集しましょう。



労働局に要請書を手渡す伊藤委員長